

— BRAND GUIDELINES EXCERPT

ブランド ガイドライン

抜粋

報道・Web 掲載用

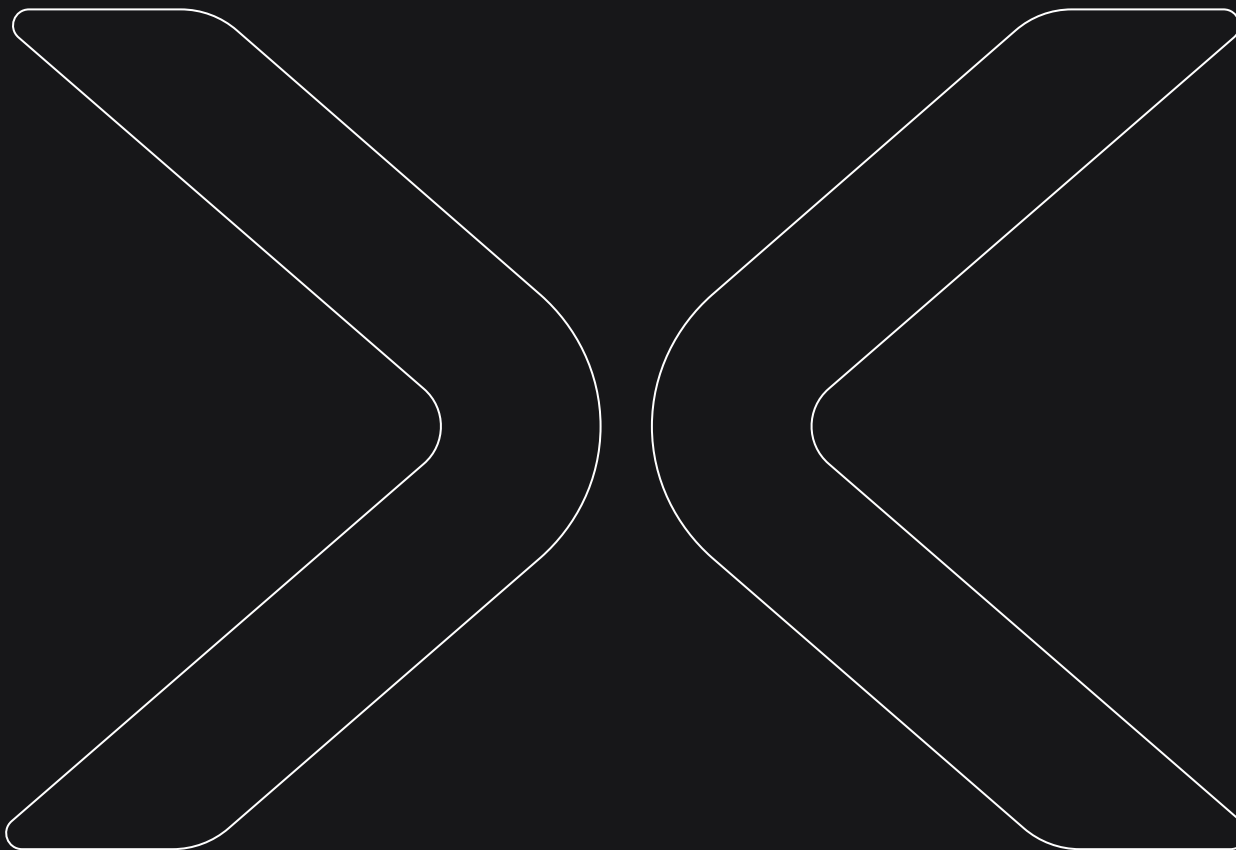
ロゴ・色・文字・レイアウト・
3つの表現・動き・媒体の実例

ご利用の範囲

株式会社イクスラボのロゴとブランドの紹介・報道に、
お使いいただけます。

iXlab ブランドシステム 1.0 ブランドガイドラインの抜粋（2026年10月13日）

株式会社イクスラボ



目次

ブランドガイドライン 1.0 から、報道・Web 掲載のためにページを抜き出した。決まりごとには、意図・再現方法・具体例を付けている。

01	核となる考え	ブランドの物語、イクスラボの素材での語り方	03	この資料の読み方
02	ロゴ	基本形・白抜き・シンボル・組み合わせ・保護領域・最小サイズ・背景・NG	04	赤は、価値の一点の見本の中だけに使った。ラベル・札・図は白黒で組んである（ラベルと左の短線は Ink）。
03	色	色の考え方・役割と値・印刷の値・コントラスト・赤の使い方	07	OK と NG の札は、Ink の塗りと輪郭で分けた（輪郭から塗りへ）。
04	文字	書体・Web とスライドの段階・入手先と利用条件	09	理由の札：意図はブランドの考えから、視認性は読めるかどうかから決めたもの。
05	レイアウト	グリッド・余白・罫と輪郭の線・操作部品・41°	10	
06	3つの表現	向き合う二つの形・輪郭から塗りへ・ひとつだけ大きく	11	ロゴを使うときは
07	動き	ロゴ動画・ブランド紹介ムービー・テンポ・音・動きを減らす設定	13	形・色・縦横比を変えない。明るい背景は原本色、暗い背景は白抜き（p.4）。
08	媒体の実例	SNS・ムービー・名刺・提案資料	15	周りに2S を空け、画面は高さ16px・印刷は幅15mm より小さくしない（p.5）。
				してはいけないことは p.6。

色を扱う会社から、構造を扱う会社へ。

ブランドの考え方のもと、代表 桜木笑語の言葉。スローガン「印刷を扱う会社から、仕組を変える会社へ。」はイクスラボが向かう方向で、代表の言葉がその中身を語る。

ORIGIN	STRUCTURE	CONSTRAINTS	STARTING POINT	MONOCHROME	CONSTANT
原点は、印刷 私たちの原点は、印刷でした。 パッケージ製造の世界から出発し、デジタル印刷で新しい選択肢をつくってきた。	本質は、構造 問題の本質は、一つの印刷技術ではなく、その背景にある「構造」にありました。 見積から進捗管理までの9つの工程が分断され、情報が人に依存している。	制約を、解く ものづくりの制約を、解く。 ロット・納期・コスト・設備・知識・情報・人への依存。解いた結果として、新しい仕組みとサービスが生まれる。	パッケージ製造を起点に 私たちは印刷をやめるわけではありません。 製造・顧客・現場の不便を知っている。そこにデジタルを掛け合わせ、もっと速く、柔軟に、分かりやすく、自由に。	なぜ、モノクロなのか モノクロは、「何もない」という意味ではありません。 CMYKは「印刷」を象徴する色だった。装飾を削ぎ落とし、本質・構造・課題に向き合う。	変わるもの・変わらないもの ロゴは変わります。 事業領域も広がります。 ビジョン「課題を価値に変え、人を幸せにする」は変わらない。対象は、印刷からパッケージ、ものづくり全体へ。

イクスラボの素材での語り方

1 DIRECTION イクスラボの向かう方向 印刷を扱う会社から、仕組を変える会社へ。 原点は印刷、本質は構造、ものづくりの制約を解く。	2 ASPIRATION その方向の先で、Brixa が目指す姿 「Brixaで軟包装を注文する」から、 「Brixaの上で軟包装業界が動く」を目指して。 代表 桜木笑語の文章「Brixaが実現する未来」より。	3 EVOLUTION イクスラボも進化する ロゴは変わる。 「課題を価値に変え、人を幸せにする」は変わらない。 新しいロゴとビジョンで結ぶ。
---	--	--

出典：代表 桜木笑語の言葉より。

ロゴ：基本形・白抜き・シンボル・組み合わせ

2026年10月9日からのロゴを、形・色・縦横比を変えずに使う。画面では SVG のデータを、そのまま使う。印刷用のデータ（AI・PDF）は、お問い合わせください。



原本色 明るい背景に置く。画面 #140E0C／印刷 C40 M40 Y40 K100（4色の黒）



白抜き 暗い背景に置く。#FFFFFF



シンボル（X だけ） 16px 未満と、正方形の場面（サイトアイコン）



白地のアイコン SNS・PR TIMES・ホーム画面。X の外接円の外に2S を空け、丸く切り抜かれても欠けない



株式会社イクスラボ

組み合わせ（横組み・縦組み） 社名は Zen Kaku Gothic New Bold・字の大きさ 1.5S・ベタ組み・ロゴと同じ色。ロゴとの間は2S。横組みは字面の下端をベースラインに、縦組みは中心にそろえる

X の意味 ロゴの制作者の説明の要旨



> <
先端の隙間：高さの 6.05%

Xは、右を向いた「>」と左を向いた「<」が中央で向かい合う形。

中央で向き合う2つの形で、人・知識・アイデア・技術が交わり、掛け合わさって新しい価値に変わっていく姿を表す。Xをほかの文字より大きく、横幅を広く取り、社名の核であることを示す。

腕の角度は 40.96°。この形を、3つの表現の「向き合う二つの形」の元にしている。

決まり

- 形・色・縦横比（4.284：1）を変えない。
- 明るい背景は原本色、暗い背景は白抜き。台紙（白い箱）は敷かない。
- 寸法の単位は S（「i」の縦画の太さ＝ロゴの高さ×0.189）。保護領域は 2S（p.5）。
- 社名と組むときは配布版（社名をパスにした SVG）を使い、社名を打ち直さない。

保護領域・最小サイズ・背景

周りに2Sを空け、画面は高さ16px・印刷は幅15mmより小さくしない。背景は測って、コントラストの高いほうの色を選ぶ。

01 保護領域



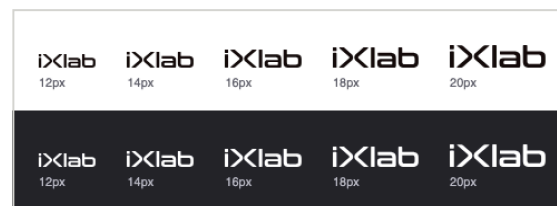
ロゴの四方に2Sを空ける。Sは「i」の縦画の太さ（ロゴの高さ×0.189）で、2Sは高さの約0.38倍。この範囲に文字・図・写真の端を入れない。組み合わせの周りも2S。

02 最小サイズ

SCREEN

16px

画面は高さ16px（幅69px）以上。16px未満では、Xの二つの形が判別しにくい。



12〜20pxで表示したときの画素を、4倍に拡大したもの

PRINT

15mm

印刷は幅15mm（高さ3.5mm）以上。Xの隙間が0.2mm以上になる大きさ。



組み合わせは、画面でロゴの高さ44px（社名12.5px）、印刷で7.5mm（社名6pt）以上。

03 背景 明るい背景は原本色、暗い背景は白抜き。中間の明るさは、両方を測って高いほう

OK 白×原本色 19.13:1	OK Paper×原本色 17.98:1	OK 明るい灰色×原本色 9.80:1	NG 暗い灰色×原本色 3.18:1	NG Ink×原本色 1.07:1
NG 白×白抜き 1.00:1	NG Paper×白抜き 1.06:1	NG 明るい灰色×白抜き 1.95:1	OK 暗い灰色×白抜き 6.02:1	OK Ink×白抜き 17.90:1

数字はWCAG 2.xのコントラスト比。灰色はブランドの色（#B9B9C0・#62626D）。暗い灰色は原本色も3:1を超えるが、高いほうの白抜きを使う。写真の上も平らな所で同じように測る。

してはいけないこと

ロゴの形・色・縦横比を崩す使い方と、読めなくなる置き方。理由は、ブランドの意図か視認性のどちらか。



NG 色を変える 意図
原本色か白抜きだけ。ほかの色（ブランドの赤でも）にすると別のロゴに見える。



NG 縦横比を変える 意図
X の41°と隙間の比率が崩れ、向き合う二つの形でなくなる。



NG 回転・斜体にする 意図
斜めはロゴのXの腕の41°だけ。ロゴそのものを傾けない。



NG 影や縁取りをつける 意図
盛る表現になる（避ける印象「誇張」）。ロゴは平らなまま置く。



NG 台紙（白い箱）を敷く 意図
暗い背景は白抜きを使う。箱で囲むと面が二つになる。



NG X だけ大きくする 意図
X の大きさと位置は原本で決まっている。部品を組み替えない。



NG 細かい柄の上に置く 視認性
柄や写真と重なると、Xの二つの形が読めない。平らな所に置く。



NG 暗い面に原本色 視認性
Ink の面とは 1.07:1 で読めない。白抜きにする。



NG 社名を打ち直して組む 意図
書体・大きさ・位置が規則と違う。配布版の組み合わせを使う。



NG 保護領域に文字を入れる 視認性
2S の中に文字を入れると、ロゴが文字に埋もれる。

ロゴのデータ 形・色・縦横比を変えずに、そのまま使う

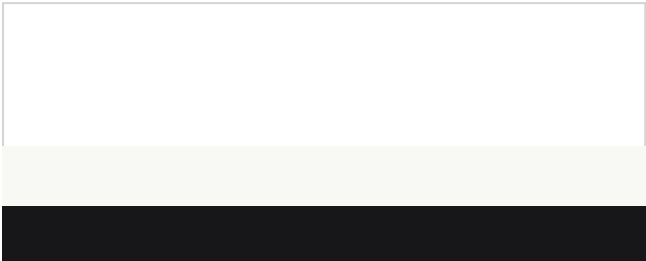
場面	使うもの	形式
Web・画面	原本色・白抜き	SVG
資料・メール	原本色・白抜き	透過 PNG
印刷	原本色（C40 M40 Y40 K100）	AI・PDF （お問い合わせください）
社名と組む	組み合わせ（横組み・縦組み）	社名をパスにした SVG
正方形	シンボル・白地のアイコン	SVG・PNG

見本を置かない NG

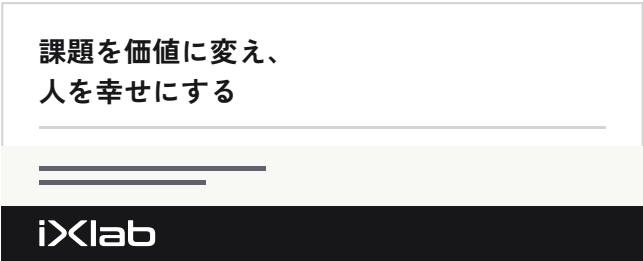
– **NG** 赤い面に置く。赤は価値の一点の色で、面には使わない（p.8）。 意図

会社の面と骨格は白黒、色は価値として一点だけ現れる

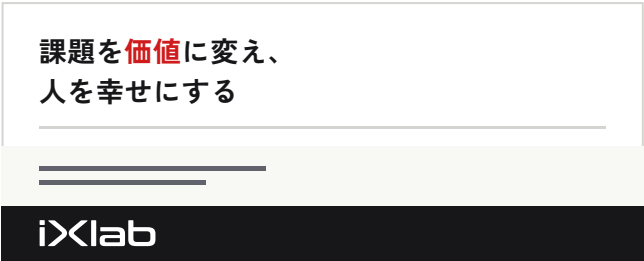
面と骨格は白黒の段階で組み、赤は価値が生まれた一点だけに使う。
写真はカラーのまま。



1 面 White・Paper・Ink。区切りは面の切り替えと余白



2 骨格 文字・罫・枠・ロゴ。すべて白黒の段階



3 価値の一点 赤は価値が生まれた所だけ。このページの赤もここだけ

役割と値 画面（HEX・RGB）と印刷（CMYK）の値

名前	画面	RGB	印刷（CMYK）	役割
 White	#FFFFFF	255 255 255	紙の白（刷らない）	基本の背景
 Paper	#F8F8F5	248 248 245	—	面の切り替え
 Ink	#171719	23 23 25	文字 K100／暗い面 C60 M40 Y40 K100	本文・見出し・暗い面
 Text	#23232C	35 35 44	K100	ボタンの文字・第2の暗い面
 Muted	#62626D	98 98 109	K80	補足の文字
 Muted on Ink	#B9B9C0	185 185 192	K40	暗い面の補足の文字
 Rule	#D4D4D0	212 212 208	—	1px の罫・区切り
 Rule on Ink	#3A3A42	58 58 66	—	暗い面の罫（文字に使わない）
 Control	#73737E	115 115 126	—	ボタン・入力枠
 Logo	#140E0C	20 14 12	C40 M40 Y40 K100	ロゴ専用（塗り替えない）
図の3  Red	#CF1B1B ホバー #AD1515	207 27 27	M100 Y100 K10	価値が生まれた一点（CTA・数字・VALUE）。1画面に1か所が基本

印刷の値

塗工紙（Japan Color 2001 Coated）を前提にした値。

- 細い文字・小さな文字はリッチブラックにせず K100。
- 暗い面の白抜き周りの周り 0.1mm は K100（版ずれで縁に色が出ないように）。
- ロゴの黒は、4色を重ねた黒（C40 M40 Y40 K100）。
- 赤の値は、赤を刷る物（価値の一点）を作るときの基準にする。

Brixa の扱い

Brixa のロゴと色は、Brixa のロゴと面の中だけ（Brixa の決まりのまま）。iXlab の面・文字・罫に持ち込まない。並べるときも色を合わせない。

写真

写真はカラーのまま。白黒にするのは面と骨格だけ。

コントラストの実測と、赤の使い方

実際の組み合わせのコントラスト比（WCAG 2.x）。Web の本文は 4.5:1、大きな文字（24px 以上、太字は 18.66px 以上）と操作部品の枠は 3:1 を目安にする。

区分	用途	文字・ロゴ	背景	比	判定
本文	本文・見出し	#171719	#FFFFFF	17.90:1	本文 OK
	Paper の面の本文	#171719	#F8F8F5	16.83:1	本文 OK
	暗い面の本文	#FFFFFF	#171719	17.90:1	本文 OK
補足	補足	#62626D	#FFFFFF	6.02:1	本文 OK
	Paper の面の補足	#62626D	#F8F8F5	5.66:1	本文 OK
ボタン	主ボタン（CTA）	#FFFFFF	#CF1B1B	5.49:1	本文 OK
	主ボタン（ホバー）	#FFFFFF	#AD1515	7.25:1	本文 OK
	輪郭のボタンの文字	#23232C	#FFFFFF	15.58:1	本文 OK
	ボタン・入力枠	#73737E	#FFFFFF	4.68:1	部品 OK
	Paper の面の入力枠	#73737E	#F8F8F5	4.40:1	部品 OK
ラベル	ラベルと短線（Ink）	#171719	#FFFFFF	17.90:1	本文 OK
	暗い面のラベルと短線	#FFFFFF	#171719	17.90:1	本文 OK

灰色の面では、原本色と白抜きを両方を測り、3:1 以上で高いほうを使う（暗い灰色の原本色 3.18:1 と、明るい灰色の白抜き 1.95:1 は使わない）。写真の上も同じように測る。

CONTACT

袋づくりのご相談は、
こちらから。

見出しと本文は Ink と Muted。赤はボタンの一点だけ。
ラベルと短い線は、いつも Ink。

お問い合わせ

価値の一点の見本 CTA は白の文字に赤の面（5.49:1）。1画面に1か所

区分	用途	文字・ロゴ	背景	比	判定
暗い面の補足	暗い面の補足	#B9B9C0	#171719	9.18:1	本文 OK
	第2の暗い面の補足	#B9B9C0	#23232C	7.98:1	本文 OK
	暗い面の罫	#3A3A42	#171719	1.59:1	文字に使わない
赤の文字	赤の文字・数字	#CF1B1B	#FFFFFF	5.49:1	本文 OK
	Paper の面の赤	#CF1B1B	#F8F8F5	5.16:1	本文 OK
	Ink の面の赤	#CF1B1B	#171719	3.26:1	大きな文字
ロゴ	白地のロゴ	#140E0C	#FFFFFF	19.13:1	OK
	Paper の面のロゴ	#140E0C	#F8F8F5	17.98:1	OK
	Ink の面に原本色	#140E0C	#171719	1.07:1	NG
	Ink の面に白抜き	#FFFFFF	#171719	17.90:1	OK
灰色の上のロゴ	明るい灰色に原本色	#140E0C	#B9B9C0	9.80:1	OK
	暗い灰色に白抜き	#FFFFFF	#62626D	6.02:1	OK
参考	罫	#D4D4D0	#FFFFFF	1.49:1	文字に使わない

赤の使い方

- OK

赤は塗りの一点（主なボタン・要の数字・「価値」の語）。
- OK

ラベルと左の短線は骨格なので、いつも Ink（暗い面では白）。
- OK

ホバーの赤（#AD1515）は押せる部品だけ。
- OK

赤のない画面があってよい（中扉・表紙・まだ価値が生まれていない構想）。
- NG

面・帯・罫・飾りを赤で塗る

意図
- NG

ラベルや左の短線を赤にする

意図
- NG

1画面に赤を2か所以上置く

意図
- NG

赤のほかの色で強調・色分けする

意図
- NG

赤の文字を Ink の面に小さく置く（3.26:1）

視認性
- NG

罫の色を文字に使う（1.49:1）

視認性

文字：Zen Kaku Gothic New と Archivo

和文は Zen Kaku Gothic New の Bold（見出し）と Regular（本文）。英字の見出し・ラベル・数字は Archivo の 400 と 700 だけ。どちらも Google Fonts で配布されている。

Zen Kaku Gothic New Bold 700 見出し

課題を価値に変え、人を幸せにする

Zen Kaku Gothic New Regular 400 本文

製造とデジタルで、ものづくりの可能性をひらく。

Archivo Bold 700 英字の見出し・ラベル・数字

BRAND GUIDELINES 0123456789

Archivo Regular 400 1px の輪郭の英字・数字（56px 以上）

01 Value

Zen Kaku Gothic New の Medium 500 は、ロゴ動画の言葉（ロゴと並べる2行）だけ。ロゴの線の太さに合わせるため。Archivo の 500 は使わない（Archivo は 400 と 700 だけ）。Web は Google Fonts の CSS で読み、アウトライン化には TTF を使う。代わりの書体は Hiragino Sans、Noto Sans JP。

入手先と利用条件

入手先 fonts.google.com/specimen/Zen+Kaku+Gothic+New
fonts.google.com/specimen/Archivo

ライセンス SIL Open Font License 1.1。印刷物・Web・PDF・動画に無償で使え、PDF への埋め込みもできる。書体だけを単体で売ることはいできない。改変した書体は別の名前で、同じライセンスで配る。

Web の段階 px（大きさ／行の高さ）。767px 以下は SP

種類	PC	SP	書体
輪郭の英字	112/123	56/62	Archivo 400・1px の輪郭
見出し1	44/60	28/40	Zen Kaku Gothic New 700
見出し2	30/42	23/34	Zen Kaku Gothic New 700
見出し3	20/30	18/28	Zen Kaku Gothic New 700
本文	16/28	15/26	Zen Kaku Gothic New 400
小さい本文	14/24	13/22	Zen Kaku Gothic New 400
注記	12/20	12/20	Zen Kaku Gothic New 400
ラベル	12/18	11/16	Archivo 700・大文字・字間8%・lnk
数字	68/68	40/44	Archivo 700

スライドの段階 1920×1080。Web の1.5倍

見出し1	64/88
見出し2	44/64
見出し3	32/48
本文	24/44
小さい本文	20/36
注記	16/28
ラベル	18/24

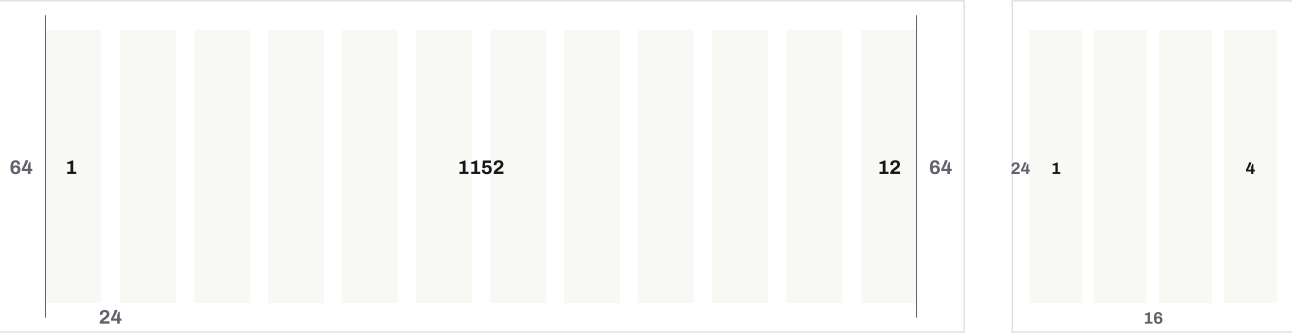
組み方

- 本文の1行は全角40字まで（PC の本文16px なら640px）。Web の記事は本文640px、見出しと画像800px。
- 改行は意味の切れ目で（課題を価値に変え、／人を幸せにする）。行末に1字だけ残さない。
- 輪郭の英字は56px 以上だけ（小さいと線が消える）。
- ラベルと左の短線は骨格なので、文字の色（lnk。暗い面では白）にする。赤は使わない。

レイアウト：余白で区切り、1px の罫で整える

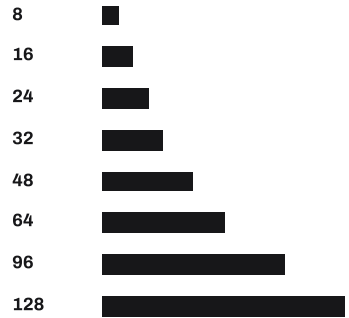
8px 単位の余白と12列のグリッドで組む。区切りは余白と面の切り替えで、罫は1px。
角丸は操作部品の4px だけ、斜めはロゴの X の腕の41° だけ。

01 グリッド PC 1280px は12列、SP 375px は4列



PC 1280px: 最大幅1152px (左右64px) ・12列・溝24px。SP 375px: 左右24px ・4列・溝16px。図の灰色が列。

02 余白 8px 単位 (4px は補助)



区切りは余白と面の切り替え (White → Paper → Ink) で作る。罫を足して区切りを増やさない。

03 罫と輪郭の線

罫は1px (#D4D4D0)。暗い面では #3A3A42

01 01 01

Web 1px スライド・映像 1.5px SNS 2px

変わる前の輪郭は1px (Web の等倍)。1920 のスライドと映像では1.5px。
SNS の 1080px の画像では2px (スマホでは約3分の1に縮んで表示され、1px では消えるため)。

04 操作部品



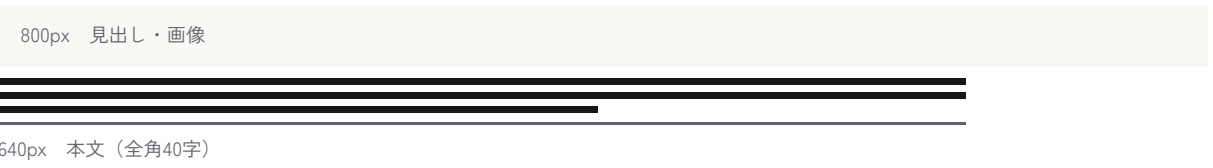
高さは56px (小さいものは44px)。角丸は4px で、操作部品だけ。写真と面は角丸にしない。主ボタンの塗りは赤 (価値の一点。p.8)。押せる所は44×44px 以上。

05 斜めは41° だけ



ロゴの X の腕の角度 (水平から40.96°)。窓の切り口・動きの軌道・矢じりに使う。ほかの斜めは使わない。

06 記事の幅 本文は640px、見出しと画像は800px



本文の1行は全角40字まで。PC の本文16px なら幅640px。Web 記事の本文はこの幅、見出しと画像は800px。本文の幅を見出しと画像より狭くして、読む所と見る所を分ける。SP でも1行は40字を超えない (375px の本文15px で、左右24px を引くと21字前後)。

色ではなく、3つの構造で iXlab と分かるようにする

向き合う二つの形・輪郭から塗りへ・ひとつだけ大きく。どれもロゴの X とビジョンから来ている。1つの媒体に全部を入れる必要はない。媒体ごとの当て方は次のページの表。

01 向き合う二つの形

意図 ロゴの X（中央で向き合う「>」と「<」）が表す、人・知識・アイデア・技術が交わり、新しい価値に変わっていく姿を構図にする。製造とデジタルの掛け合わせ。

再現方法 窓（>と<）に自作の図か言葉を入れて向き合わせる。切り口は X の腕と同じ 41°、先端の隙間も X と同じ比率（ロゴの高さの 6.05%）。窓は1画面に1組で、人の写真は入れない。言葉は白い砂時計か帯の外に置く。

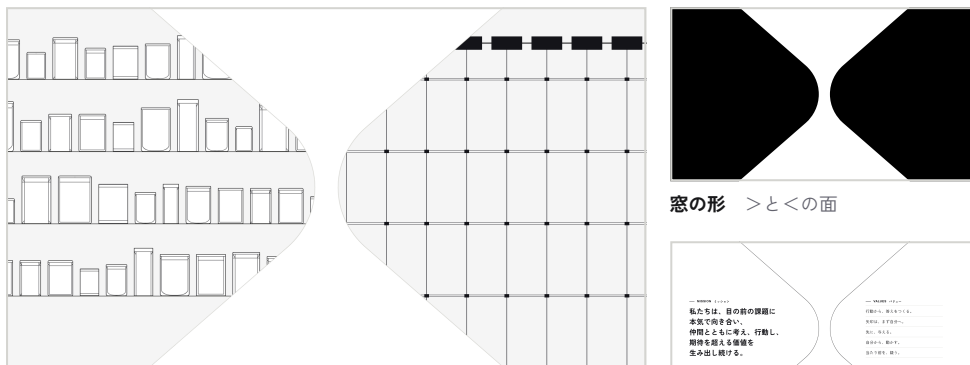
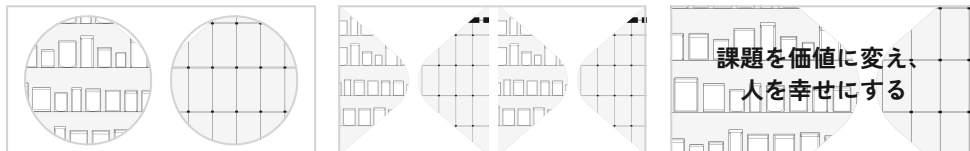


図 16.9 左の窓に袋の線画（製造）、右の窓に工程の札と格子（仕組）



NG 丸や別の角度で切る
切り口は 41° だけ。窓を丸や四角で切らない。

意図

NG 窓を2組置く
窓は1画面に1組。目の行き先が割れる。

意図

NG 図に言葉を重ねる
線と重なって読めない。言葉は白い砂時計か帯の外に置く。

視認性

02 輪郭から塗りへ

意図 まだ形になっていない課題は輪郭、生まれた価値は塗り。ビジョン「課題を価値に変え、人を幸せにする」を、そのまま形にする。

再現方法 変わる前と説明の見出しは輪郭（Web 1px、スライドと映像 1.5px、SNS の 1080px の画像 2px）、結果と価値は塗り。赤は塗りの一点だけ。輪郭の英字は 56px 以上。動きでは、結んだ瞬間だけ輪郭から塗りに変わる。



ムービー 袋の輪郭（0.40秒）が刷られて塗りに（3.60秒）

ロゴ動画 輪郭の X が結んで塗りの X に



提案資料 06 01～03 は輪郭の数字と枠、価値に当たる 04 だけが塗り（赤は「04」の一点）



NG 輪郭の英字を小さく使う
線が字の中を埋めて、塗りに見える。輪郭の英字は 56px 以上だけ。

視認性

ひとつだけ大きく。どの媒体にも同じ原理で当てる

核をはっきりさせるのは、大きさの差。色を足して目立たせない。下の表は、3つの表現の媒体ごとの当て方。

03 ひとつだけ大きく

- 意図** ロゴのXのように、核をはっきりさせる。見る人の目の行き先を1つにする。
- 再現方法** 1画面の核は1つ。核と次の要素の大きさは3倍以上の差をつける。核のほかは小さく、整列させる。数字を核にするときは Archivio 700。



名刺の裏 Xが核。ビジョンとURLは小さく



提案資料の章扉 輪郭の「01」が核



SNSの数字のカード 「5」の高さは次の文字の約5倍（見本）



NG 同じ大きさで並べる

意図 目の行き先が2つに割れる。核と次の要素は3倍以上の差。



NG 枠や影で目立たせる

意図 色・影・枠は盛る表現（避ける印象「誇張」）。大きさの差で示す。



NG ばらばらに置く

視認性 核のほかを散らすと読む順が決まらない。小さく、そろえる。

媒体への当て方

媒体	向き合う二つの形	輪郭から塗りへ	ひとつだけ大きく
ムービー	分断された工程が両端からつながる	袋の輪郭が刷られる。仕組の線が塗りになる	結びはロゴだけ
ロゴ動画	トンボが><になって結ぶ	結んだ瞬間に輪郭から塗り	Xが最初に立つ
提案資料	05は>と<の輪郭が向き合う	01~03は輪郭、04は塗り	章扉の輪郭の数字
名刺	—	—	裏のX
SNS	9:16の図（見本）	—	数字のカード

ロゴを除いても分かるか 提案資料の3枚・名刺の表から、ロゴを除いて並べた（下の図）。どれも白黒の面と罫で組まれ、赤は1か所まで（提案資料05と名刺の表は赤なし）。提案資料05は41°の輪郭が向き合う形、06は1.5pxの輪郭から塗り、名刺と表紙は大きさの差で核を示す。



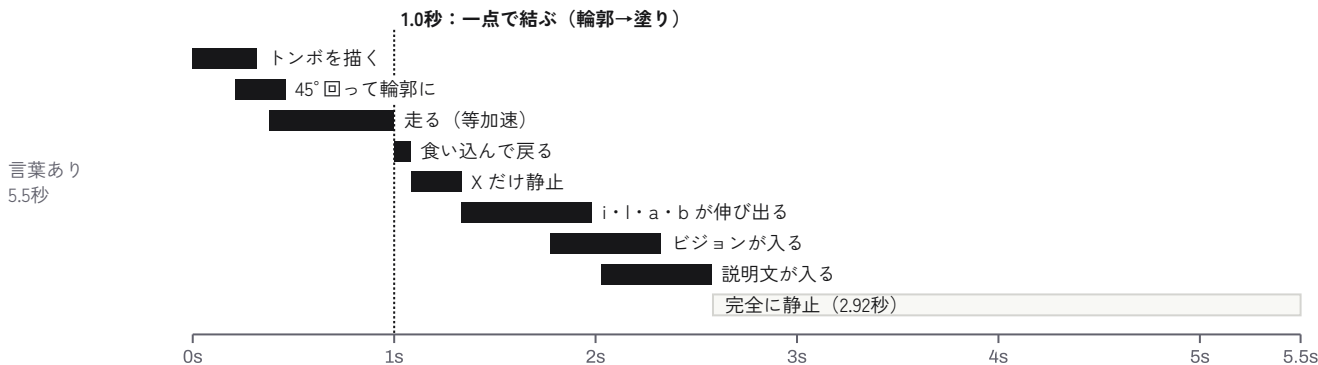
ロゴを除いた並び 左から提案資料05・06・表紙・名刺の表。赤は画面ごとに1か所まで。提案資料05と名刺の表は赤を使わない（役職の上の短い線はInk）

離れた二つが、向き合い、加速して一点で結ぶ

結んだ瞬間だけ塗りになり、そのあとは止まる。数値はロゴ動画の実際の値。画面の部品の150・250・400msは目安（ロゴ動画からの値ではない）。



01 ロゴ動画の時間 白地・言葉あり

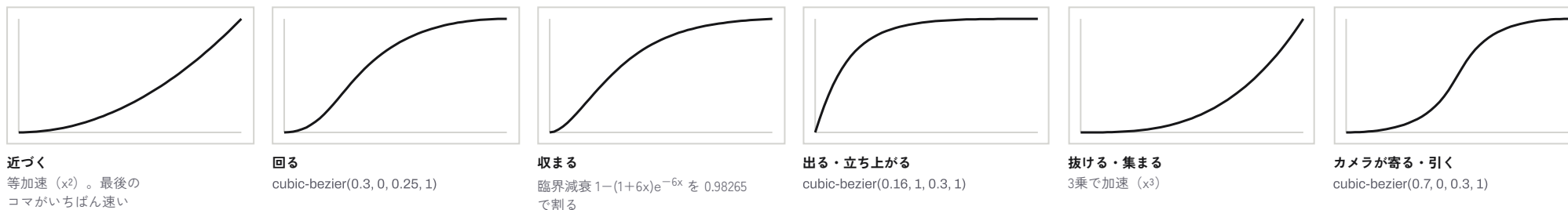


02 長さ

版	長さ	結ぶ	最後の静止
言葉あり	5.5秒	1.0秒	2.92秒
言葉なし	3.0秒	0.8秒	1.23秒

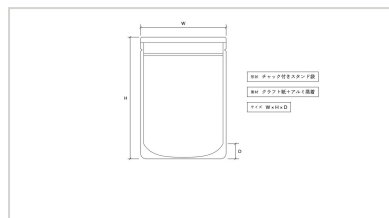
- 結ぶ瞬間は、2.5px 食べ込んで5フレーム（約0.083秒）で戻る。色や光は足さない。
- 言葉は1字ずつ、自分の字の下端で切られた線から立ち上がる（1字0.6秒・字の間0.045秒。長い行は全体を0.42秒に収める）。抜けるときは上へ加速して消える。
- 言葉なしの版は Web の読み込み、ロゴだけの動画に使う。

03 加減速 行き過ぎて戻る動きは使わない



ブランド紹介ムービー：印刷から、仕組へ。そしてロゴへ

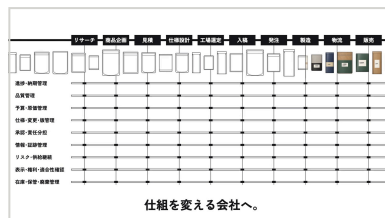
流れは、イクスラボの向かう方向（印刷 → 10工程がつながる仕組）→ Brixia が目指す姿（代表の言葉）→ イクスラボも進化する（トンボがロゴへ）。



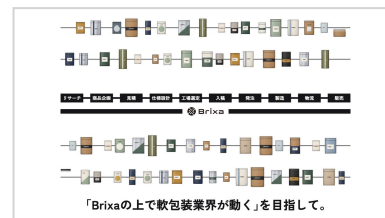
C1 輪郭と仕様 0.00-1.80秒
言葉なし



C2 見当と刷り 1.80-4.97秒
印刷を扱う会社から、



C3 仕組 4.97-9.87秒
仕組を変える会社へ。



C4 Brixia が目指す姿 9.87-16.39秒
「Brixiaで軟包装を注文する」から、
「Brixiaの上で軟包装業界が動く」
を目指して。



C5 イクスラボも進化する 16.39-22.77秒
（ロゴ動画のまま）ビジョンと説明文

01 画面

- 言葉は4行とも同じ組み（Zen Kaku Gothic New Bold・中央）。1字ずつ立ち上がり、どの行も2.5秒読ませる。
- 色は白・Ink・ロゴの黒と、袋の図の素材の色だけ。赤は使わない。
- Brixia のロゴは原本のまま白地に置き、イクスラボのロゴより小さくする。袋は自作の図。

02 テンポ

- 音の拍を画の出来事に合わせる（画を拍に合わせない）。約126BPM（区間ごと 123.6〜127.5BPM）。錨は見当のカチッ・10工程が結ぶ所・C4 の頭・13.7秒の広がり・ロゴの X。
- 入る所は詰め、読む所は保つ（言葉は2.5秒）。完全に止めるのは結び（ロゴとビジョン・説明文）だけ。
- 速いコマは180°のシャッターで撮り、ぶれを付ける（言葉のぶれは弱く）。

03 動きを減らす設定

動きを減らす設定では、最終フレームを止めて表示する。Web は prefers-reduced-motion で最後の状態にする。

04 音

- 勢いのある、熱を帯びた現代的な音。テンポの速い電子音のポップス（締まった短いキック、ハイハット・クラップ、刻むベース、明るいシンセの和音、場面転換の盛り上げ）。
- 音量を急に上げない。盛り上げは、立ち上がりの坂で作る。
- 音はプログラムで合成し、外部の音源を使わない。

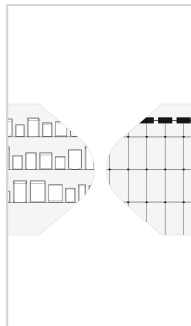
SNS とブランド紹介ムービー

SNS のアイコンはシンボル（X だけ）、投稿は発表のお知らせと図。ムービーは YouTube で公開している。

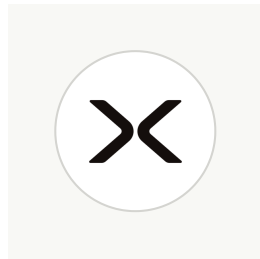
01 SNS



発表のお知らせ 1:1 スローガンを
使う発表の素材。ラベルと短い線は
白（見本）



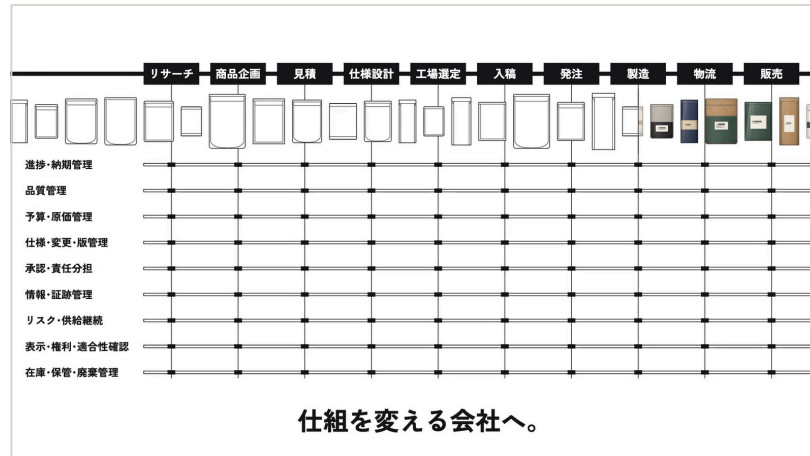
9:16 ストーリーズの
図（見本）



アイコン 丸く
切り抜かれても欠けない

- アイコンはシンボル（X だけ）の白地版。ワードマークは小さく表示されると最小の 16px を下回る。
- 赤は1画面に1か所、価値の一点だけ（発表のお知らせと 9:16 の図は赤なし）。ラベルと短い線は Ink（暗い面では白）。
- 1080px の画像の輪郭は 2px（スマホでは約3分の1に縮み、1px では消える）。
- 9:16 は、SNS の名前や返信欄が重なりやすい上下を避け、言葉は帯の外に置く。

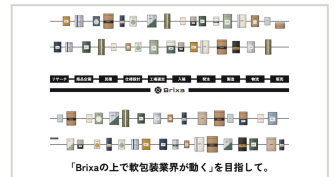
02 ブランド紹介ムービー 22.767秒・1920×1080・60fps



代表のコマ（8.60秒） 10工程と全工程にまたがる9つの観点の格子

帯と10工程の塗り、業界のレールの画は、目指す姿を示す2行目「...を目指して。」の言葉が出てから現れる。

YouTube で公開している（<https://youtu.be/kOokpUQdr0g>。日本語字幕あり）。



15.72秒 2行目（目指す姿）：
帯と10工程が塗りに。業界が帯の
上下を流れる

名刺と提案資料

名刺は入稿用データ（CMYK・トンボ付き）、提案資料は16枚のテンプレート。どちらも実際の文言で組んである。

01 名刺 91×55mm・塗り足し3mm



表 ロゴは幅18.83mm（印刷の最小15mm 以上）。役職の上の短い線は骨格なので Ink。赤を使わない



裏 X が核（ひとつだけ大きく）。暗い面は C60 M40 Y40 K100

文字はすべて6pt 以上。

02 提案資料 1920×1080 の16枚。PDF と編集用の HTML



01 表紙 Ink の面に X の輪郭。赤は交わる一点



07 会社概要 赤を使わない

– 文字は Web の1.5倍（見出し 64/88、本文 24/44）。輪郭は1.5px、罫は1px。赤は1枚に1か所まで。



04 ビジョン ひとつだけ大きく。赤は「価値」



16 結び ロゴに着地。赤は連絡先の一点